

1. 2月全国行事
 - 1) 省エネルギー月間 2月1日～29日
2. 安全・衛生・防災の心得 : 「落下物」による事故・災害の防止
3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)
4. 他社 事故・災害事例から : パレットの「はい」が倒壊して死亡
5. ヒヤリハット事例 : 処理終わりのバスケットを台車に乗せて運ぶ時、ヌルヌルして少しすべった。

2. 安全・衛生・防災の心得 : 「落下物」による事故・災害の防止

～「高所のモノは落下する」点検と対策を～

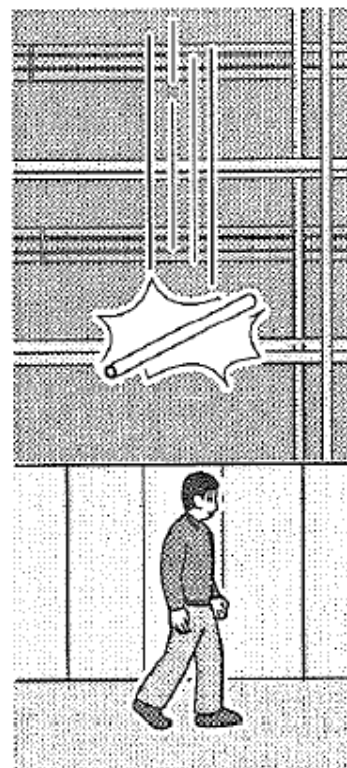
・2019年11月19日朝、和歌山市の12階建てビルの工事用の足場から長さ1.5mの鉄パイプが落下して、通勤途中の銀行員の頭を直撃し死亡させました。4日前にもこの工事現場からパイプ1本が落下する事故があったばかりでした。

2018年10月にも東京・六本木のマンション建設現場から鉄パイプが歩道に落下し、歩行者を直撃して死亡させています。

東京では年間500件以上も建物から看板等の落下事故があるとされています。1件の重篤な災害の裏には29件のケガがあり、その裏には300件のヒヤリ事故があるとする「ハインリッヒの法則」があります。ヒヤリ事故での対応が肝要です。

職場でも「物の落下」による災害が後を絶ちません。「高所の物は落下する」ことを前提に落下防止措置や対策の点検・整備を行い、次の事項の徹底を図る必要があります。

- ①高所から物を投げ下ろす作業を原則禁止する。
- ②高所の物は落下しないように固定し、高所の床などは整理・整頓・清掃を徹底する。
- ③高所で使用中の工具などは常に落下防止措置を行う。
- ④飛来・落下の恐れがある作業では、養生ネット、シートなどの防護設備を活用する。
- ⑤物の落下の恐れがある作業場所では 立入禁止の措置、または監視人の配置を行う。
- ⑥上下作業は避けるよう作業調整する、など。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

●前橋工場

- ・フォークリフトにドライブレコーダーを取り付けて、安全面を向上させていた



●西日本技術センター中京

- ・事業場で使用するコードリールを全て漏電遮断機付タイプのものにしていた



4. 他社 事故・災害事例から : パレットの「はい」が崩壊して死亡

～パレットを規定以上に重ねていた～

●「はい」とは、袋物、箱物、木材等が倉庫や土場に積み重ねられた荷の集団(状態)をいいます。

(1)災害のあらまし

- ・事業場の部品倉庫で、約500kgの金属材料が入った専用パレット5段積み「はい」の最下段が変形して崩落し、近くで出荷準備を行っていた被災者(男性55歳)が隣のパレットとの間に体を挟まれて圧死したものです。

(2)災害の主な原因

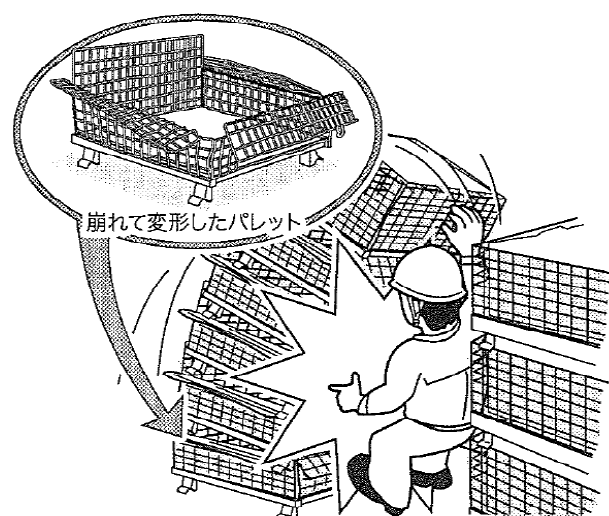
- ①再下段パレットの開閉ゲートのバーボルトが損傷して外れていたため、上段の重量でパレットが変形して崩壊したこと。
- ②パレットの積み重ねは「3段まで」とされていたが、在庫が増えたため3ヶ月前から「5段重ね」が行われていたこと。
- ③パレットは、一部損傷したり変形したものがそのまま使用されていたこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①パレットの積み重ね(はい)は、基準を決め、現場に表示し、順守する。
- ②パレット類は使用時及び定期的に点検を行い、不良の物は使用しない。
- ③パレットの構造や強度を熟知し、バーのボルト掛けなどの必要な措置は必ず行う。
- ④やむを得ず損傷したり変形したパレットを使用するときは、上司等と相談し安全性を確認して使用する。
- ⑤「はい」の異常を発見したら、直ちに上司等に相談し、積み重ね等の安全対策を行う、など。

(4)環境安全部から

- ・器具は損傷した状態で使用しないこと。また、積み重ね段数等の決められたルールは守ってください。



5. ヒヤリハット事例

- ・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	小型ライン後ろのはく離ライン前で
何をしている時に	小型ラインで、処理終わりのバスケットを台車に乗せて運ぶ時
どうなった	床にはく離液があつて、水かきでかいてあつたが思った以上に、ヌルヌルしていて、台車を運ぶ時に踏ん張りがきかず、少しすべった。

以上